

## 第4回

# 下水道スタートアップチャレンジ ～下水道を活用したサーキュラーエコノミー～

無料

下水道は言うまでもなく私たちの暮らしに不可欠なインフラであり、その機能をどのように維持し、また発展させていくか、智恵を絞り努力していくことが求められています。国土交通省は、異業種技術との連携による下水道の課題解決・付加価値向上を目指して、令和元年度より下水道業界と異業種企業とのマッチングイベント「下水道スタートアップチャレンジ」を開催しています。

日時：令和2年10月19日（月）15時～17時（14時45分より閲覧可）

形式：ストリーミング動画配信

## 今回のテーマ：「下水道を活用したサーキュラーエコノミー」

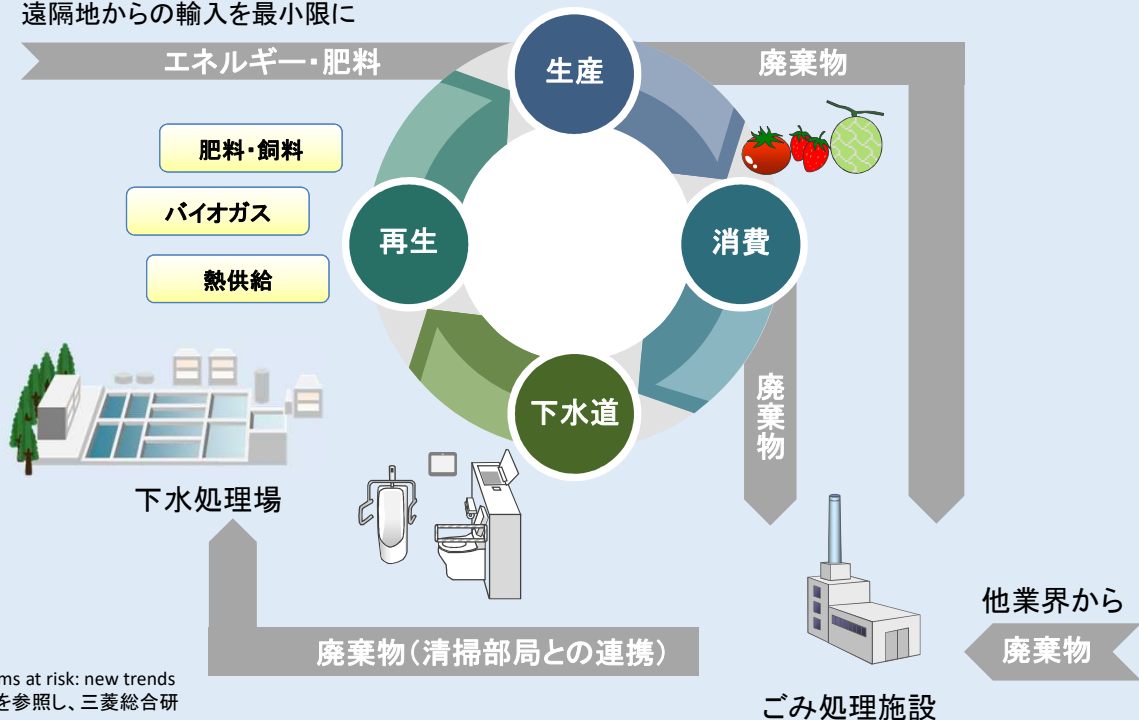
私たちは普段、遠隔地から様々なものを調達して生活を営んでいます。たとえば食分野では、食品生産のために必要なエネルギーや肥料の多くを海外から輸入しているのが現状です。

しかし近年では、感染症の蔓延によるグローバルサプライチェーンの分断などが懸念されるようになり、必要な物資を地域内で確保できる体制の構築も望まれています。このような体制構築には、地域で発生した廃棄物を域内で再生するというサーキュラーエコノミー（※）の考え方が役立つでしょう。

下水道は、都市の廃棄物を回収し、肥料・飼料、バイオガス、熱などの資源に変えるポテンシャルを持つ、サーキュラーエコノミー実現に寄与するインフラの一つです。今回の下水道スタートアップチャレンジでは、「下水道資源を用いて何が生産できるか？」について検討するとともに、事業実施に向けた課題などを考えます。

（※）環境省「サーキュラー・エコノミー及びプラスチック資源循環分野の取組について」（<http://www.env.go.jp/recycle/mat02.pdf>）によれば、サーキュラーエコノミーとは、「製品と資源の価値を可能な限り長く保全・維持し、廃棄物の発生を最小化した経済」のことを言います。

地域循環型のバリューチェーンで、  
遠隔地からの輸入を最小限に



出所) FAO, Food systems at risk: new trends and challenges, 2019 を参照し、三菱総合研究所にて作図

むらおかみぞうえ

(お問い合わせ先) 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 担当: 村岡・溝上 TEL: 03-5253-8427、FAX: 03-5253-1596

# 主催：国土交通省水管理・国土保全局下水道部

協力：株式会社三菱総合研究所

## 開会（15:00～15:15）

- ・ 開会挨拶 国土交通省
- ・ 意見交換会開催の趣旨説明 株式会社三菱総合研究所

## 第1部 プレゼンテーション（15:15～16:15）

- ・ 下水道×食品製造：下水道資源を活用した培養肉の生産（仮） インテグリカルチャー株式会社
- ・ 下水道×水産養殖：再生水・下水熱を利用した陸上養殖（仮） IMTエンジニアリング株式会社
- ・ 地方公共団体における下水道資源再利用の取組み（仮） 鶴岡市（ほか）

## 第2部 パネルディスカッション（16:15～16:50）

下水道資源を用いることでどのような製品が生産できるのか、視聴者の皆様からのご意見（※）や第1部発表を踏まえつつ、パネリストの皆様にご議論いただきます。

（※）ご参加申込み時のフォームや当日の配信動画チャット欄にて、ご意見をお寄せいただけます。

## 閉会（16:55～17:00）

- ・ 議論総括、閉会挨拶 国土交通省

## ○ 申込要領

申込用フォーム（<https://www.mri.co.jp/gesui-startup-4/>）よりお申込みのうえ、ご参加ください。自動返信にて、閲覧用サイトのURLとパスワードを送付します（事務局による参加人数把握の都合上、申込みされていない方へのURLの転送はご遠慮ください）。

- ・ 申込期間 令和2年9月25日（金）18:00～10月19日（月）イベント開始時 ※予定
- ・ 対象者 ①今回のテーマに興味がある方（食品業界・バイオ業界企業など）  
②下水道事業に関わる地方公共団体・企業の方々
- ・ 定員 900名（応募多数の場合は人数調整をお願いする場合があります。）

## ○ 参加対象者とメリット

### 下水道と接点のなかった他分野企業の皆様

- ・ 下水道分野におけるビジネスチャンスに気づきを得られます。
- ・ 地方公共団体や下水道関連企業とのネットワークを形成できます。
- ・ 国土交通省が実施予定の実規模施設を用いた新技術実証事業等（右図参照）についてご案内させていただきます。

### 地方公共団体および下水道関連企業の皆様

- ・ これまで下水道と接点のなかった様々な他分野企業の方々と接点を見出し、新しい取組みのきっかけにすることができます。
- ・ 異業種技術とのマッチングにより現在抱えている課題の解決、新たな下水道サービスの開拓につながる可能性があります。
- ・ 異業種技術を活用した国土交通省の取組みについて知ることができます。

下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）による新技術の全国展開

